

2021年12月27日

世田谷区長 保坂展人様

日本共産党世田谷区議団  
日本共産党世田谷地区委員会

## 新型コロナウイルス感染症対策についての緊急申し入れ

強力な感染力のオミクロン株が世界的に広がり、東京でも、市中感染が始まっています。年末年始を控え、人の移動が大きくなれば、感染拡大のリスクも危惧されます。国も無料のPCR検査を打ち出し、東京都も、希望する方が無料でPCR検査できる体制をスタートさせました。今年夏の第5波では、東京も医療崩壊ともいえる事態となりました。世田谷でも最大約3500人が在宅療養をするという事態となり、保健所との連絡が取れず亡くなる方も出ました。こうした事態をなんとかして防ぐために緊急の対策を求めます。

### 1. ワクチンについて

3回目接種を急ぐ必要があります。高齢者施設での接種を始めたことを評価します。3回目接種を8ヶ月後に行うことに科学的根拠はなく、感染拡大に備え、すべての区民が8か月を待たずに3回目接種が行えるよう国に働きかけることを求めます。訪問・通所介護職員について、1回目接種のときに区として優先接種とした経緯もあります。重症化リスクの高い高齢者との接触が避けられない訪問・通所介護職員や、ワクチンが打てない子どもを通してクラスターが多発した保育園の保育士など社会的基盤を支えるエッセンシャルワーカーは、国の動向を待つのではなく、国に働きかけ、優先接種とすることを求めます。

また、予約受付の混乱がないよう、電話受付、ネットの受付システム、まちづくりセンターでの支援体制など必要に応じて増強することを求めます。

### 2. 大規模検査について

この間学校、保育園などでの抗原定性検査キットの事前配布、保育園・幼稚園の園児の同居家族を対象とした検査キットの配布など評価します。引き続き社会的検査の対象拡充を求めます。

さらに広い区民を対象に、いつでも誰でも何度でも無料で検査ができる体制に踏み出すべきです。東京都が、ワクチン未接種者を対象としていたPCR検査・抗原定性検査を、無症状の希望者に拡大しました。12月25日から都内10ヶ所で始まりましたが、世田谷区内にはありません。区として、東京都と協力して区内での検査体制を早急に整えることを求めます。

### 3. 医療支援、医療体制について

補正予算で区民の感染者を受け入れた医療機関への支援金増額や、重症ベット確保のための重症者の回復後転院を受け入れた医療機関への支援対象拡大など、疲弊する医療機関への支援強化を評価します。さらに、区の酸素ステーションにおいて、バックアップ体制を確保して、抗体カクテル療法などの医療的対応を行うことを求めます。

### 4. 保健所について

第5波では、ファーストコンタクトに数日を要したり、連絡が取れないまま死亡するという痛ましいケースも生じました。感染者の把握の遅れが、その後の感染者への支援の遅れに繋がりました。

た。補正予算で、保健所の人員体制強化が行われましたが今後の感染状況は予断を許しません。医療機関との連携も深め、必要に応じ補正予算も組み、対応することを求めます。

#### 5. 臨時特別給付金について

先の補正予算で行うこととなった「子育て世帯等臨時特別支援事業」について、基準日以降に離婚するなどの事情で給付金が届かない場合や、DV被害で避難している別居中の親子などに、給付金が届くよう、国として救済策を講じるよう国に働きかけるとともに、区としての丁寧で適切な対応を求めます。

また、「住民税非課税世帯等への臨時特別給付」について必要な人に支援が届くよう、広報・周知の徹底を求めます。

以上